

令和元年6月3日
東京都病害虫防除所

令和元年度 病害虫発生予察情報 注意報 第1号

病害虫名： 果樹カメムシ類
(チャバネアオカメムシ及びクサギカメムシ)

対象作物： ナシ、ブドウ 等

1. 注意報の内容

- (1) 対象地域 都内全域
- (2) 発生量 多

2. 注意報発令の根拠

- (1) 東京都福祉保健局が発表した2018年におけるスギ及びヒノキの飛散花粉数の平均は、過去10年間で2番目に多かった。4～7月までのチャバネアオカメムシ予察灯誘殺数（大部分が越冬成虫）と前年のスギ及びヒノキの飛散花粉数との間には正の相関があるため（沼沢ら、2007）、越冬成虫数は多いと推定される。
- (2) チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺数は、5月5半旬に急増し始め、さらに同月6半旬には198.0頭と平年の9.7倍になり、過去10年間で最多となった（図1）。
- (3) 5月の予察灯誘殺数は、チャバネアオカメムシは103頭で平年の5.2倍と多く、クサギカメムシは平年よりやや多かった。
- (4) 5月のサクラ果実における寄生数は、チャバネアオカメムシが9.3頭、クサギカメムシが2.0頭であり、チャバネアオカメムシについては過去10年間で最多となった（図2）。

3. 防除対策

今後は春に結実したサクラやクワなどの実が急激に減少するため、果樹カメムシ類が果樹園に飛来する危険性が高まる。

- (1) 早期に袋がけを行う。果実が肥大して袋に接するまでは袋がけの効果が高い。
- (2) 多目的防災網（目合9mm、クロス入り）を展張できる園は早く設置する。
- (3) 果樹園への飛来が認められたら、表1を参照して薬剤を散布する。

4. 参考文献

沼沢ら（2007）関東東山病害虫研究会報 54：173-176

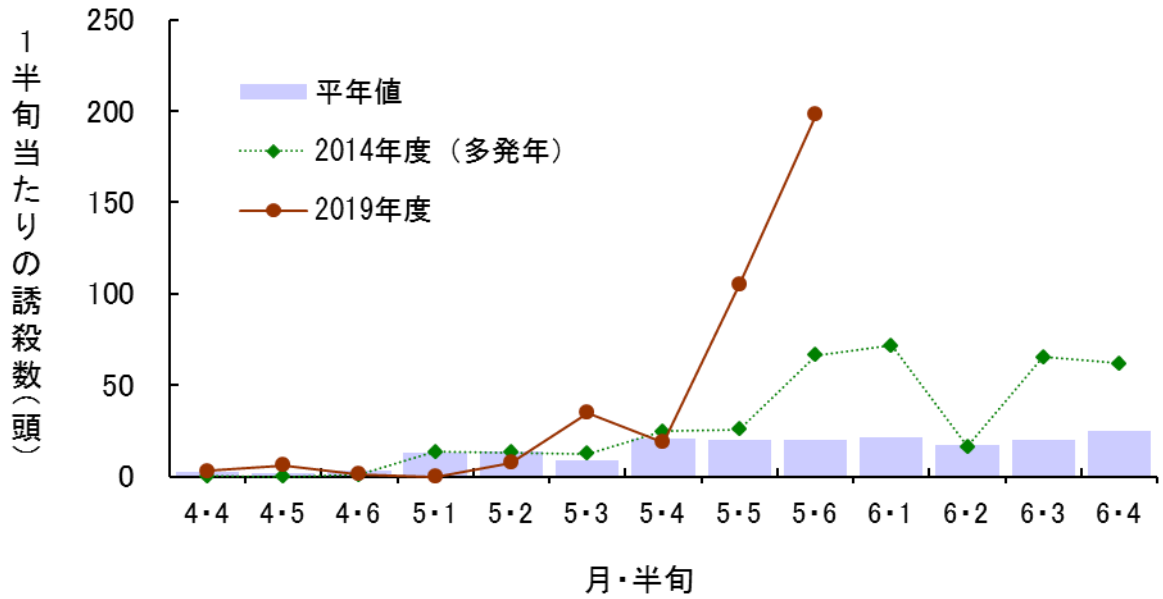


図1. チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺数の推移(立川市)

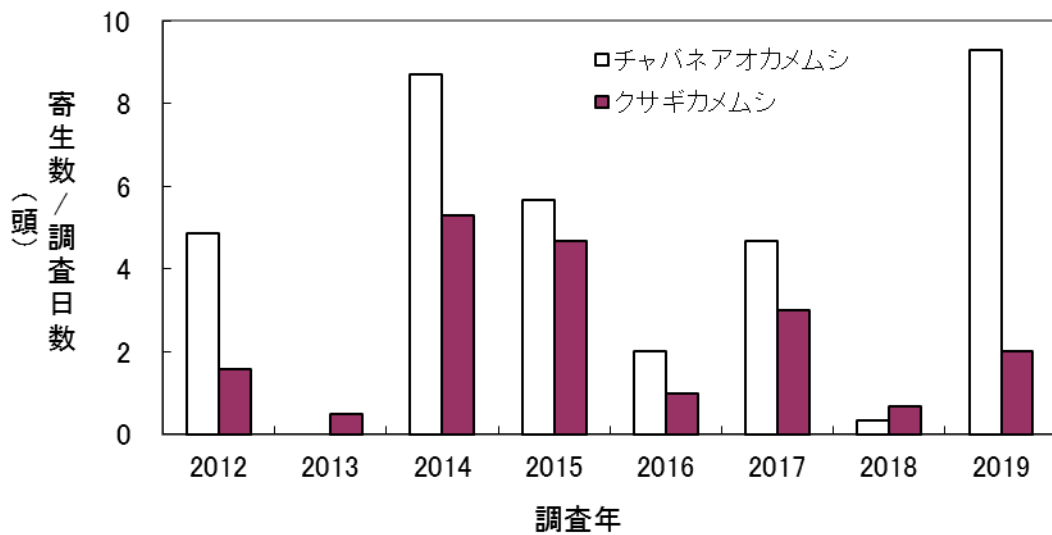


図2. 5月のサクラにおける果樹カメムシ類寄生数(立川市)

表 1. 主な防除薬剤

薬 剤 名	IRAC	薬剤系統	使用時期 (日)	使用回数	ナシ	ブドウ
スプラサイド水和剤	1B	有機リン	7	3	○有袋	
			21	2	○無袋	
スミチオン水和剤40	1B	有機リン	14	6	○有袋	
			21	6	○無袋	
アーデント水和剤	3A	ピレスロイド*	7	3	○	
アグロスリン水和剤		ピレスロイド*	1	3	○	
アディオオン乳剤		ピレスロイド*	1	2	○	
スカウトフロアブル		ピレスロイド*	1	5	○	
テルスターフロアブル		ピレスロイド*	1	2	○	
マブリック水和剤20		ピレスロイド*	30	2	○	
ロディー水和剤		ピレスロイド*	1	2	○	
MR. ジョーカー水和剤		ピレスロイド*	14	2	○	
アドマイヤー顆粒水和剤	4A	ネオニコチノイド*	3	2	○	
アクタラ顆粒水溶剤		ネオニコチノイド*	1	3	○	
アルバリン顆粒水溶剤		ネオニコチノイド*	1	3	○	○
スタークル顆粒水溶剤		ネオニコチノイド*	1	3	○	○
ダントツ水溶剤		ネオニコチノイド*	1	3	○	○
ベストガード水溶剤		ネオニコチノイド*	14	3	○	
モスピラン顆粒水溶剤		ネオニコチノイド*	1	3	○	

注 1) 農薬を使用する際は、ラベルの記載事項を確認する。

注 2) ピレスロイド剤は、ハダニ類の発生を助長することがあるので注意する。

.....

防除所ホームページ

[http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/](http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/)

[nourin/shoku/anzen/boujyo/](http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/)

今後の予察情報にご注意下さい。

E-mailアドレス S0200303@section.metro.tokyo.jp